

フクタクニュース

発行



(株)...

砕石部

新型車導入

環境負荷低減へ



⇒7m積んで走ります！

福田運送にダンプが2台更新導入されることとなりました。

1台は10t車をベースとした軽量型車両で、従来の10t車より積載量が多く、燃費向上にも効果があり、環境負荷低減に貢献できることを期待しています。ちなみに、この車両の営業ナンバーは5555です。(大当たり)番号にあやかり元気にGO!GO!GO!GO!と活躍してもらいたいと思います。もう1台はFゲート車(10t)です。今回の更新により現在ダンプの車両別台数は10t車12台、10t車(Fゲート)1台、12t車5台、15t車1台、12t車(収集運搬用天蓋車)8台、4t車1台となります。

軽油 1ℓ=2.62kg???

資源素材学会で発表させていただいた。砕石の製造と運搬に関わる環境負荷低減と地産地消について考えた。軽油燃料を燃焼させると2.62kg/ℓの二酸化炭素が排出される。遠距離運搬は燃料消費量が多くなる為、同一性能、同一価格であるならば地産地消をすることで、環境負荷が低減できるのではないかという論法である。

しかし、なぜ1ℓの軽油を燃やして2.62kgのCO2が排出されるのか?化学オチの私は理不尽に思う。答えは軽油C1に酸素Oが2つ(ゆえにCO2となる)くっつくので倍になってもおかしくないのだそうである。あらためて地球の酸素を消費しているのだと気が付いた。寄せ集めの夏休みの自由研究のような中身の無い発表になったが自分の事はさておき、第1線の研究者の話



備えあれば

砕砂プラントの冬じまいに向けて、冬期間の在庫確保の為残業を始めました。当社の砕砂プラントは湿式(水洗)であるため通常1月~3月までは稼働を休止しています。毎年クリスマス前後までは慌しく稼働しているので今年こそは余裕のある備蓄をしたいものと考えています。目標1万トンを12月初旬までに達成できるよう皆で頑張っています。



め・て・た・し

10月10日、第37回採石業務管理者試験が実施されました。当社から小野寺が受験し見事合格しました。今回の岩手県の合格率は30%程度でしたが、いずれにしても法令、技術と広範囲な知識が問われ難関です。今回の合格により砕石事業所16人中7人の資格取得となりました。ちなみに採石法上では『一採取場毎に1名の業務管理者を置くこと』となっており、当社の場合十二分に充足していることとなります。



二戸駅に降りるとまず目に入るのが大崩崖である。その二戸のシンボルが8月に一部崩落した。我々採石業者にとって岩盤の安定は見逃がせない問題である。安山岩は地表近くで冷えて固まった岩石で節理があったり他の地層が複雑に入り組んでいる場合がある。岩石の採掘は地質や地層などの自然条件を考慮した安全性と経済性のバランスが問われる。今回の崩落をま



編集後記

あつという間に11月になってしまいましたね…。冬支度のタイヤ交換もそろそろかな…。私は他県から岩手県に来て11年になりました。寒さにも言葉にもすっかり慣れたのに、雪道には毎年心臓が痛くなる思いをさせられます。これから3月までは配車の方も夏より一回の走行時間がかかるようになる分、お客様にもご迷惑をおかけするかと思いますが、安全第一をキッパリと頑張ります。

どんぐり観察日記 その2

平成20年4月17日に栽培を開始したどんぐりは10月6日現在、大きいもので27cmまで育った。60鉢を栽培したが最終的に53鉢となり発芽率88%の高発芽率となった。先日、順調に育ちこまできれば毎日水をやらなくても朝露で大丈夫だと目を離していたら2鉢を枯らしてしまった。原因は、鉢が小さくなって根が鉢の底で渦巻き状態になってしまい必要な栄養を取れなくなったためだったそうである。どんぐりは、下に下にと根が伸びるらしく、鉢が小さいとこのようなことになってしまふとのことである。

栽培後4ヶ月(背丈20cm程度)すると、鉢が小さくなり栄養を取れなくなって枯れてしまうので鉢から出して山に植えた方が良さそうである。早速山に移植するため鉢から出しになっていた。根を真っ直ぐにして植えたものと鉢形状のまま(渦のまま)植えたものの2つに分けて植えてみた。今後の育ち方に着目してみることにした。



Only One ~他愛のない話し~

御返地支所の前に晩酌用の酒を買う田口酒店がある。腰が低くて正直そうな若(?)旦那がいてたまに立ち話をする。「建設屋さんが景気のいい頃は毎週焼肉でビールが定番だったが、今はさっぱりだ」とか「おらほの店に来るのは子供と年寄りばかりだ。近所のボケばあさんは一日8回も来る」そんな愚痴とも思えぬ愚痴を言うのだ。小学校、中学校、郵便局もそばにある好立地。また田舎の酒屋にしては(失礼)商品の品揃えは多く、行く度ごとに陳列が変わっているのが結構売れているのである。たまに見たことのない焼酎を置いてあり「すごいね」と言うと、「仕入れ失敗したあ〜」と本当に大変そうに答えるのである。バイパスができ、通りは閑散としているのだが、地元の人達に頼りにされているのだと感じられ、毎回元気づけられるのである。「ナンバーワンよりオンリーワン」そんなことを考えながら田口酒店で買った南部美人を飲み秋の夜長をぼんやり過ごす。